

川村 しんこう

県政
レポート
Vol. 27

子供たちに夢と希望を
お年寄りに安心と生きがいを

いつも皆様には温かいご支援ありがとうございます。県政レポートVol.27を発行いたします。
令和6年度のスタートとなる6月定例会での質疑や補正予算の概要、岩手県で初めて発生した豚熱の概要について掲載いたしました。
豚熱については対応に当たられた県職員をはじめ県外からの応援獣医師そして関係団体の協力のもと処理が無事終了しました。現在発生の原因については国において調査中ではありますが対応に当たられた方々に心から御礼申し上げます。
今後も引き続き、皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

川村伸浩



8つの目標

- 1 人口減少への対応
- 2 基幹産業である農林水産業の振興
- 3 商工業の振興
- 4 観光立県いわたの促進
- 5 学校教育の充実と人づくり
- 6 明るく豊かな長寿社会の実現
- 7 若者の雇用創出と安心して働ける環境づくり
- 8 東日本大震災からの復興

PROFILE

川村伸浩

岩手県議会：●文教委員 ●東日本大震災津波復興特別委員 ●観光・交通政策調査特別委員 ●岩手県監査委員
昭和31年2月19日生まれ68才。岩手県花巻市高松出身。黒沢尻工業高校卒業。尊敬する人：新渡戸稲造。好きな言葉：一期一会。性格：辛抱強い。



Q

利用促進について

県産食材の積極的利用を高めるための市町村への指導、または情報提供等を行うことによって利用率が上がると思うが考えを伺う。

A

国の支援事業や民間団体等の県産食材購入費助成事業について、市町村にも周知しているところであり、今後も引き続き、農林水産部

REPORT

01

学校給食について

Q

県産食材の利用状況について

県内学校給食における県産食材の利用状況について伺う。

A

県産食材の利用状況についてですが、文部科学省調査によると、令和5年度は金額ベースの利用割合で59・3%であり、全国平均の55・4%と比較して、3・9ポイント上回っている状況です。

Q

県産食材の積極的活用について

県内学校給食における県産食材の積極的活用について伺う。

A

県産食材の積極的活用についてありますが、学校給食に県産食材を使用することは、児童生徒にとって、食育の観点から教育的意義があるものであり、各学校の栄養教諭など給食関係者の会議や研修会等において、県産食材を使用する教育的意義の説明や、市町村の農林水産部局などと連携した優良事例の紹介などを行っているところであります。

REPORT

02

学校薬剤師について

Q

学校薬剤師の役割について

学校薬剤師の役割について伺う。

A

学校薬剤師の役割についてですが、学校保健安全法第23条により、児童生徒の健康や健康的な学校環境の維持のため、学校薬剤師を置くものとされており、

学校薬剤師の職務については、学校保健安全法施行規則第24条において、学校保険計画及び学校安全計画の立案に参与する、環境衛生検査に従事する、学校の環境衛生の維持及び改善に関し、必要な指導及び助言を行うことなど、必要に応じて、学校における保険管理に関する専門的事項に関する技術及び指導に従事することとされており、

Q

環境衛生検査機器について

どのような学校環境衛生検査機器が必要なのか伺う。

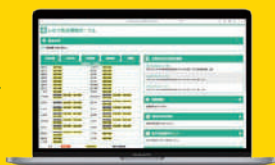
A

12品目あるのですが、例えば風速計、WBG T暑さ指数を測るものの、あとは照度を測るもの、騒音計等でございます。



酒田市・酒田駅前交流拠点施設ミライニ酒田図書館を視察

防災情報は
こちらから



いわた防災情報ポータル

<https://iwate-bousai.my.salesforce-sites.com>

岩手県による防災情報のポータルサイトです。岩手県内各市町村の気象情報、避難勧告・指示情報、避難所情報、その他関連サイト(交通、ライフライン情報等)などが集約されたページとなっています。



岩手県で初めて発生した豚熱の概要

●発生の概要

- ・所在地：九戸郡洋野町
- ・飼養状況：約17,500頭（繁殖豚：約1,500頭、肥育豚：約11,000頭、子豚：約5,000頭）

●本県の防疫対応等

- (1)経過 5/28(火) 20:00 豚熱対策本部の設置、21:00 発生農場での殺処分を開始
6/17(月) 14:00 発生農場での殺処分を完了(殺処分した豚:19,780頭※) ※患者判定後に生まれた子豚を含む
- (2)防疫措置等への従事者数等 ※6/20時点

県職員

延べ 4,157人(防疫作業に直接従事した職員 延べ 3,050人、地方支部において運営等に従事した職員 延べ 1,107人)

県外からの応援獣医師

延べ 104人(29道県及び国：北海道、青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、山梨県、岐阜県、静岡県、三重県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、農林水産省動物検疫所、農林水産省動物医薬品検査所)

関係団体等の職員

延べ 1,466人(洋野町 延べ 138人、久慈市 延べ 2人、JA新しいわて 延べ 126人、岩手県建設業協会久慈支部 延べ 約1,200人)

(3)防疫措置への協力団体・企業

- ・洋野町 → 発生農場における消毒作業、集合施設・救護所の運営等
- ・久慈市 → 救護所の運営
- ・JA新しいわて → 集合施設の運営等
- ・(一社)岩手県建設業協会久慈支部 → 殺処分した豚の埋却作業等
- ・(公社)岩手県トラック協会 → 防疫作業に使用する資機材等の運搬
- ・(公社)岩手県バス協会 → 防疫作業従事者を移送するためのバスの手配
- ・(一社)岩手県高圧ガス保安協会 → 豚の殺処分に必要な液化炭酸ガスの調達
- ・(一社)日本建設機械レンタル協会岩手支部 → 防疫作業に使用する資機材等の調達の運営等
- ・岩手県動物薬品器材協会 → 防疫措置に必要な消毒薬等の資材の確保
- ・株式会社ドコモビジネスソリューションズ → 緊急対応用スマートフォンの提供(無償)
- ・佐川急便株式会社北東北支店 → 防疫作業に使用する資機材の県外からの搬送

発生農場において、家畜保健衛生所職員及び農場職員が消毒作業(2回目及び3回目)を行い、7月4日で完了。

Q

検査機器の整備状況について

学校環境衛生検査機器の整備状況について伺う。

A

検査機器の整備状況についてでございますが、県教育委員会としては各学校における整備状況は把握しておりませんが、令和3年2月に文部科学省から「保健室の備品等について」という通知が出され、保健室に学校環境衛生用に備えるべき風速計、照度計等12品目について、最低限備えることが適当であるとされております。

また、校種、学校規模等に応じて、年間の使用頻度が数回程度のものであるとか、回数が少ないものについては、複数校の兼用として差し支えないものとされております。

それを踏まえて各学校で整備されているものと認識しています。

Q

検査機器保有状況の調査について

学校環境衛生検査機器の整備状況について把握しておくべきではないか。

A

学校における環境整備というものは必要なものであり、それに関わる機器は必要なものであると認識しております。

学校で本当に必要であれば、備えなければならぬと思いますので、状況把握をしていきたいと思っています。

令和6年度岩手県一般会計
第1号補正予算概要

●予算編成の考え方

○県内で家畜伝染病「豚熱」が発生したため、防疫措置に要する経費を計上

〔計上事業〕

- ・家畜伝染病予防費
550百万円(農林水産部)

令和6年度岩手県一般会計
第2号補正予算概要

●予算編成の考え方

○早急に対応が必要な、本年2月発生の大雪や強風・波浪被害の復旧に要する経費を計上

○被災地に寄り添った継続的な支援として、能登半島地震に係る職員派遣等に要する経費を計上

○経営者保証に依存しない融資慣行の確立を加速させるため、国の新たな制度と連動した融資制度の創設に要する経費を計上

〔計上事業〕

- ・大雪、強風・波浪被害の復旧経費等
1,745百万円(農林水産部、県土整備部)
- ・能登半島地震に係る職員派遣経費等
20百万円(復興防災部)
- ・経営者保証非提供促進資金貸付金
271百万円(商工労働観光部)
- ・被災農業者緊急支援事業費補助
77百万円(農林水産部)
- ・水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助
54百万円(農林水産部)
- ・水産業復旧緊急支援対策事業費補助
23百万円(農林水産部)
- ・漁港災害復旧事業費
1,256百万円(農林水産部)
- ・港湾災害復旧事業費
335百万円(県土整備部)



大槌漁港(大槌町)
強風・波浪による導流堤の倒壊

川村しんこうの主な活動報告 (令和6年4月～7月)

4月

- 田瀬ダム農業用水取水安全祈願祭
- 岩手県化製油脂協同組合視察



花巻市議会議員のみなさんと岩手県化製油脂協同組合を訪問、工場の視察と意見交換をさせていただきました

- 胡四王神社例祭

5月

- 御柱神社慰霊大祭 ●萬鉄五郎祭
- 県南広域振興局 管内選出議員懇談会
- 花巻工業クラブ第35回定期総会
- 国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会総会
- 文教委員会 県内・東北ブロック調査(秋田市・大館市)
- 県立高等学校教育の在り方に関する地区別懇談会
- 南部杜氏自醸清酒鑑評会表彰式
- 日本ワインフェスティバル
- 政策懇談会(14団体)
- 東日本大震災津波復興特別委員会現地調査(宮古市)



文化芸術創造拠点としてのあきた芸術劇場ミルハスの活用状況についての調査他

6月

- 東北六県・北海道監査委員協議会・事務局長会議(福島市)
- 観光・交通政策調査特別委員会県内調査(一関市・平泉町・西和賀町)
- 蒼前社例大祭
- 岩手駐屯地創立67周年記念行事



「日本ワインフェスティバル2024 in 花巻大迫」開催式典での乾杯の様子

- 高松・幸田・槻木連絡協議会総代会
- 6月定例会(6/21～7/4)

7月

- 知事へ花巻市要望・意見交換会
- 文教委員会 県内東北調査(山形市・酒田市)
- 花巻市消防ポンプ操法大会
- 政策懇談会(2団体) ●八雲神社例大祭



皆さんの
ご意見お聞かせ
ください



＜川村しんこうホームページ＞
<https://shinko-kawamura.iwate.jp/>

川村しんこう事務所

〒025-0079 岩手県花巻市末広町6-16
TEL.0198-29-5061 FAX.0198-29-5062
E-mail:shinkoujimusyog@gmail.com



＜川村しんこうFacebook＞
<https://www.facebook.com/KawamuraShinko/>

